

こども家庭庁 令和6年度子ども・子育て支援調査研究事業

小学校の長期休業中におけるこどもの居場所に関する

調査研究報告書

～朝の居場所に係るデータ抜粋～

出典 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
令和7年3月

小学校の長期休業中におけるこどもの居場所に関する調査研究事業要旨

本調査は、長期休業中等のこどもの居場所の確保に係る自治体等の取組状況把握および課題の抽出、対応策の検討を行うことにより、小学校の夏季休業期間のみ利用を希望する家庭のこどもを対象とした居場所（以降、「夏季休業期間のみのこどもの居場所」という）等の開所支援のあり方検討に資する情報整理を行うこと、並びに調査を通じて収集した自治体等の事例をとりまとめ、発信することにより、取組の普及拡大を図ることを目的とした。

あわせて、平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の必要性が顕在化し、一部の自治体において対応が開始される状況の中、**本調査研究では平日の朝のこどもの居場所についても実態把握を行うこととした。**

【調査対象】

①市町村

調査基準日：令和6年5月1日時点 調査対象：全国の市区町村 計 1,741 自治体（悉皆）

有効回答数：1,017 件（有効回答率：58.4%）

②運営主体

調査基準日：令和6年5月1日時点 調査対象：全国の夏季休業期間のみのこどもの居場所の運営主体（抽出）

有効回答数：1,361 件

③保護者

調査基準日：令和6年10月1日時点 調査対象：全国の小学1年生～小学6年生（令和6年度時点）のこどもを持つ、共働き家庭

有効回答数：3,708 件 （配偶者がおらず回答者自身が就労している場合も含む）の保護者 3,708 名。

①市町村への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

①市町村への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

●平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所を実施している／実施に向けて検討中と回答した自治体は **31 件**（約3%）

①平日の朝のこどもの居場所確保に向けた施策の有無（問16）

平日の朝のこどもの居場所確保に向けた施策有無について聞いたところ、「実施している」が1.4%、「実施に向けて検討中」が1.7%、「実施していない（未検討）」が96.7%。

図表1-77 平日の朝のこどもの居場所確保に向けた施策の有無（SA）

	n	%
実施している	14	1.4
実施に向けて検討中	17	1.7
実施していない（未検討）	983	96.7
無回答	3	0.3
合計	1,017	100.0

31件

①市町村への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

図表1-78 平日の朝のこどもの居場所確保に向けた施策の有無（地域区分別）（SA）

	有効回答数	実施している	検討中	実施していない（未検討）	無回答
全体	1,017	14	17	983	3
	100.0	1.4	1.7	96.7	0.3
北海道・東北	228	3	4	221	0
	100.0	1.3	1.8	96.9	0.0
関東・信越	251	6	9	234	2
	100.0	2.4	3.6	93.2	0.8
東海・北陸	119	1	1	117	0
	100.0	0.8	0.8	98.3	0.0
近畿	116	1	2	113	0
	100.0	0.9	1.7	97.4	0.0
中国・四国	135	1	0	133	1
	100.0	0.7	0.0	98.5	0.7
九州・沖縄	168	2	1	165	0
	100.0	1.2	0.6	98.2	0.0

図表1-79 平日の朝のこどもの居場所確保に向けた施策の有無（都市区分別）（SA）

	有効回答数	実施している	検討中	実施していない（未検討）	無回答
全体	1,017	14	17	983	3
	100.0	1.4	1.7	96.7	0.3
政令指定都市	17	1	2	14	0
	100.0	5.9	11.8	82.4	0.0
東京特別区	19	0	3	16	0
	100.0	0.0	15.8	84.2	0.0
中核市	43	2	0	41	0
	100.0	4.7	0.0	95.3	0.0
一般市	457	6	6	444	1
	100.0	1.3	1.3	97.2	0.2
町村	481	5	6	468	2
	100.0	1.0	1.2	97.3	0.4

①市町村への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

- 実施場所は **放課後児童クラブ以外** とする自治体が多い
- 運営者は放課後児童クラブ運営事業者、シルバー人材センター地域住民団体等、様々であった。

③平日の朝のこどもの居場所確保に向けた施策を行う場所・実施主体

問16において「実施している」または「実施に向けて検討中」と回答した自治体に、その実施場所を聞いたところ、「放課後児童クラブ以外（学校敷地内）」が51.6%、「放課後児童クラブ以外（学校敷地外）」が25.8%、「放課後児童クラブ内（学校敷地内）」が22.6%等。またその実施主体について聞いたところ、「貴自治体で放課後児童クラブを運営する事業者」が25.8%、「シルバー人材センター」が22.6%、「地域住民・団体」が16.1%等。

図表1-80 当該居場所の実施場所（MA）

	n	%
放課後児童クラブ内（学校敷地内）	7	22.6
放課後児童クラブ内（学校敷地外）	5	16.1
放課後児童クラブ以外（学校敷地内）	16	51.6
放課後児童クラブ以外（学校敷地外）	8	25.8
無回答	1	3.2
合計	31	100.0

①市町村への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

図表1-81 当該居場所の実施主体（MA）

	n	%
市区町村（市区町村が直接ボランティアスタッフ等を募って実施している場合を含む。）	4	12.9
市区町村（地域学校協働活動の一環として実施する場合）	3	9.7
貴自治体で放課後児童クラブを運営する事業者	8	25.8
非営利団体（「回答自治体で放課後児童クラブを運営する事業者」以外）	1	3.2
シルバー人材センター（「回答自治体で放課後児童クラブを運営する事業者」以外）	7	22.6
地域住民・団体	5	16.1
上記以外の事業者	4	12.9
検討中であり未定	0	0.0
無回答	8	25.8
合計	31	100.0

図表1-82 当該居場所の運営主体・内容

（運営主体）

- ・警備会社に業務委託
- ・学校の教職員
- ・シルバー人材センター

（運営内容）

- ・平日の午前7時から午前8時まで、体育館等見守り場所（学校により異なる）で見守り業務。
- ・保護者の勤務時間の関係で相談があった場合に対応している。
- ・児童は、保護者の付き添いのもと登校し、小学校内の居場所で過ごす。事業の委託先であるシルバー人材センターから派遣された会員が、活動場所の環境を整え、児童が活動場所で過ごす様子の見守りを行う。
- ・放課後子供教室の枠組みを活用し、学校始業前の時間帯に校庭での自由遊びを実施。安全管理員を配置し、児童の安全に配慮し実施している。

①市町村への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

●実施が困難な **理由は様々** であった。

③平日の朝のこどもの居場所確保に向けた施策を行うことができない理由

「実施していない」「実施に向けて検討中」と回答した自治体に、実施に当たっての課題を聞いたところ、「居場所運営に従事する人材の確保が難しい」が70.0%、「居場所（場所）の確保・調整が難しい」が42.9%、「運営者を見つけるのが難しい」が35.7%等。

図表1-83 平日の朝のこどもの居場所実施に当たっての課題（MA）

	n	%
利用ニーズをどのように把握すれば良いかわからない	161	16.1
運営者を見つけるのが難しい	357	35.7
居場所運営に従事する人材の確保が難しい	700	70.0
居場所（場所）の確保・調整が難しい	429	42.9
居場所づくりのための予算確保が難しい	336	33.6
他に優先すべき施策がある	147	14.7
その他	58	5.8
特に課題はない	117	11.7
無回答	11	1.1
合計	1,000	100.0

①市町村への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

図表1-84 平日の朝のこどもの居場所実施に当たっての課題（地域区分別）（MA）

	有効回答数	利用すれば良いかわからない把握	運営者を見つけるのが難しい	居場所運営に従事する人材	居場所（場所）の確保・調	居場所づくりのための予算	他に優先すべき施策がある	その他	特に課題はない	無回答
全体	1,000	161	357	700	429	336	147	58	117	11
	100.0	16.1	35.7	70.0	42.9	33.6	14.7	5.8	11.7	1.1
北海道・東北	225	29	78	159	89	67	26	10	29	2
	100.0	12.9	34.7	70.7	39.6	29.8	11.6	4.4	12.9	0.9
関東・信越	243	36	86	169	122	102	38	14	23	2
	100.0	14.8	35.4	69.5	50.2	42.0	15.6	5.8	9.5	0.8
東海・北陸	118	21	41	84	51	32	20	10	7	1
	100.0	17.8	34.7	71.2	43.2	27.1	16.9	8.5	5.9	0.8
近畿	115	18	33	79	43	41	17	10	15	3
	100.0	15.7	28.7	68.7	37.4	35.7	14.8	8.7	13.0	2.6
中国・四国	133	28	55	97	58	46	10	5	19	1
	100.0	21.1	41.4	72.9	43.6	34.6	7.5	3.8	14.3	0.8
九州・沖縄	166	29	64	112	66	48	36	9	24	2
	100.0	17.5	38.6	67.5	39.8	28.9	21.7	5.4	14.5	1.2

①市町村への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

図表1-85 平日の朝のこどもの居場所実施に当たっての課題（都市区分別）（MA）

	有効回答数	利用可能なものをどこからに把握	運営者を見つけるのが難しい	居場所の運営に從事する人材	居場所（場所）の確保・調	居場所づくりのための予算	他に優先すべき施策がある	その他	特に課題はない	無回答
全体	1,000	161	357	700	429	336	147	58	117	11
	100.0	16.1	35.7	70.0	42.9	33.6	14.7	5.8	11.7	1.1
政令指定都市	16	3	6	10	7	7	5	3	1	1
	100.0	18.8	37.5	62.5	43.8	43.8	31.3	18.8	6.3	6.3
東京特別区	19	4	8	13	8	6	3	3	0	0
	100.0	21.1	42.1	68.4	42.1	31.6	15.8	15.8	0.0	0.0
中核市	41	5	17	28	20	15	8	1	6	1
	100.0	12.2	41.5	68.3	48.8	36.6	19.5	2.4	14.6	2.4
一般市	450	75	176	325	215	187	77	29	38	7
	100.0	16.7	39.1	72.2	47.8	41.6	17.1	6.4	8.4	1.6
町村	474	74	150	324	179	121	54	22	72	2
	100.0	15.6	31.6	68.4	37.8	25.5	11.4	4.6	15.2	0.4

①市町村への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

「その他」の主な回答

- ・現時点で特に検討が進んでいない。
- ・平日朝の開所に関する要望が無い/把握していない。
- ・待機児童が多く通年開所している学童を増やす事が急務である。
- ・学校敷地内に居場所設置ができるかどうか。
- ・利用時間が短いことが想定される。
- ・学校（教育委員会）が対応すべき。
- ・未検討のためどのような課題があるか分からない。
- ・施設の管理やトラブル対応等での学校の責任範囲が難しい
- ・保護者が必要でも、児童が早朝から学校で過ごすことが適切かどうかの判断。
- ・例えばニーズがあった場合でも、予算確保やスキーム作り等が難しいと推察される
- ・担当部署の調整が必要。
- ・トラブル対応等、教職員をはじめとする職員への負担が大きい。
- ・施策として実施していないが、各校の判断で早く開門している学校数は把握している。
- ・学校が朝の受け入れを少し早めるなど、まず対応できることを始めてその上でのニーズがあるのか課題を探っている。
- ・厳しい財政事情の中、自治体独自の財源のみで実施することは難しい。
- ・ファミリー・サポート・センターで対応できる。
- ・実施する場合、サービス（開始時間など）をどこまで充実させたらよいか判断が難しい。

②運営主体への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

②運営主体への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

- 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の運営を「実施している」と回答した運営主体は **48 件**。

①平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の運営状況（問23）

平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の運営状況について聞いたところ、「実施していない（未検討）」が90.2%だった。

図表2-48 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の運営状況（SA）

	n	%
実施している	48	3.5
実施に向けて検討中	44	3.2
実施していない（未検討）	1,230	90.2
無回答	42	3.1
合計	1,364	100.0

②運営主体への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

図表2-49 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の運営状況（地域区分別）（SA）

	有効 回答 数	実 施 し て い る	実 施 に 向 け て 検 討 中	（ 実 施 し て い ない 未 検 討 ）	無 回 答
全体	1,364	48	44	1,230	42
	100.0	3.5	3.2	90.2	3.1
北海道・東北	192	1	3	182	6
	100.0	0.5	1.6	94.8	3.1
関東・信越	340	15	13	307	5
	100.0	4.4	3.8	90.3	1.5
東海・北陸	192	3	3	183	3
	100.0	1.6	1.6	95.3	1.6
近畿	212	11	5	188	8
	100.0	5.2	2.4	88.7	3.8
中国・四国	143	2	6	131	4
	100.0	1.4	4.2	91.6	2.8
九州・沖縄	279	15	14	236	14
	100.0	5.4	5.0	84.6	5.0

②運営主体への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

図表2-50 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の運営状況（都市区分別）（SA）

	有効回答数	実施している	実施に向けて検討中	（実施していない （未検討）	無回答
全体	1,364	48	44	1,230	42
	100.0	3.5	3.2	90.2	3.1
政令指定都市	157	9	4	136	8
	100.0	5.7	2.5	86.6	5.1
東京特別区	17	2	2	13	0
	100.0	11.8	11.8	76.5	0.0
中核市	167	5	5	149	8
	100.0	3.0	3.0	89.2	4.8
一般市	731	25	24	666	16
	100.0	3.4	3.3	91.1	2.2
町村	284	6	9	261	8
	100.0	2.1	3.2	91.9	2.8

②運営主体への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

②平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の「実施頻度」（問23-1）

※時期によって頻度が異なる場合は、最も多いものを選択

- ・平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所を実施している運営主体に対し、その実施頻度を聞いたところ、「週5日」が50.0%、「その他」が35.4%等。
- ・「その他」の具体的な内容は、「登校時間が通常より遅れる場合（台風や大雨等）」「保護者からの相談があった場合に随時」「平日学校が休みの場合」「年に数回程度」「週6日」等。

図表2-51 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の「実施頻度」（SA）

	n	%
週5日	24	50.0
週4日	0	0.0
週3日	0	0.0
週2日	0	0.0
週1日	2	4.2
その他	17	35.4
無回答	5	10.4
合計	48	100.0

「その他」の主な回答

- ・登校時間が通常より遅れる場合（台風や大雨等）
- ・保護者からの相談があった場合に随時
- ・年に数回程度
- ・週6日

②運営主体への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

③平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の「開始時間」（問23-2）

※時期によって開始時間が異なる場合は、最も多いものを選択

・開始時間については、「07：30～07：59」が20.8%、「07：00～07：29」「08：00～08：29」が16.7%等。

図表2-52 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の「開始時間」（SA）

	n	%
06：59よりも前	1	2.1
07：00～07：29	8	16.7
07：30～07：59	10	20.8
08：00～08：29	8	16.7
その他	2	4.2
無回答	19	39.6
合計	48	100.0

②運営主体への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

④平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の実施場所（問23-3）（自由記述）（主なものを抜粋）

- ・現状の放課後児童クラブ内。
- ・認定こども園の園舎内。
- ・ファミリー・サポート・センターに登録している提供会員の自宅。
- ・子ども食堂。
- ・民間の賃貸施設。

⑤平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所の活動内容（問23-4）（自由記述）（主なものを抜粋）

- ・宿題
- ・自由活動（読書、室内遊び等）
- ・朝食の提供

②運営主体への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

⑥<<民間事業者のみ>>平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所を開設したきっかけ（問24）

- ・開設したきっかけを聞いたところ、「自団体による独自の取組として開設」「その他」が22.7%。
- ・「その他」の具体的な内容は、「元々実施をしていた」等であった。

図表2-53 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所を開設したきっかけ（SA）

	n	%
自治体からの要望・公募により開設	2	4.5
自団体による独自の取組として開設	10	22.7
その他	10	22.7
無回答	22	50.0
合計	44	100.0

②運営主体への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

●開設背景は「**保護者からの要望**」が約9割。

⑦開設にいたった背景（問25）

自団体による独自の取組として開設した運営主体に対し、開設したきっかけを聞いたところ、「保護者からの要望が挙がったため」が90.0%、「こどもからの要望が挙がったため」が30.0%等。

図表2-54 開設にいたった背景（MA）

	n	%
保護者からの要望が挙がったため	9	90.0
こどもからの要望が挙がったため	3	30.0
小学校からの要望が挙がったため	1	10.0
地域住民等からの要望が挙がったため	1	10.0
その他	2	20.0
無回答	0	0.0
合計	10	100.0

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

- 学校がある日の朝、「自宅以外」で過ごすこどもは3%程度。自宅が大半を占めるものの、「自宅（こどもが一人で過ごす時間があり、不安がある）」が**3割弱**と一定数を占める。

①学校がある日の朝の主な居場所（Q2）

- ・学校がある日の朝の主な居場所（自宅で起床し準備ののち、学校が始まるまで過ごす場所）は、「自宅（こどもが一人で過ごす時間は特になく、不安はない）」が48.2%と最も多く、次いで「自宅（こどもが一人で過ごす時間があり、不安がある）」が28.3%等。「自宅以外」で過ごすと回答した割合は2.8%。

図表3-46 学校がある日の朝の主な居場所（SA）

	n	%
自宅（こどもが一人で過ごす時間があり、不安がある）	1,049	28.3
自宅（こどもが一人で過ごす時間はあるが、不安はない）	769	20.7
自宅（こどもが一人で過ごす時間は特になく、不安はない）	1,786	48.2
自宅以外	104	2.8
合計	3,708	100.0

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

- ・都市区分別にみると、政令指定都市・中核市・東京特別区といった大規模自治体では、
「自宅（こどもが一人で過ごす時間があり、不安がある）」も3割～3割半ばと、他の都市区分と比べ選択割合が高い。

図表3-47 学校がある日の朝の主な居場所（都市区分別）（SA）

	有効回答数	あご自 るす宅 （時へこ 間がど あも りが 、一 不人 安で が過	はご自 ないす宅 （時へこ 間はど あも るが 、一 不人 安で 安過	安ご自 はす宅 ない時へ （間はど ）はも 特に が な く 、 で 不過	自宅以外
全体	3,708	1,049	769	1,786	104
	100.0	28.3	20.7	48.2	2.8
政令指定都市	905	274	199	411	21
	100.0	30.3	22.0	45.4	2.3
東京特別区	245	86	47	103	9
	100.0	35.1	19.2	42.0	3.7
中核市	734	222	146	343	23
	100.0	30.2	19.9	46.7	3.1
一般市	1,587	426	320	797	44
	100.0	26.8	20.2	50.2	2.8
町村	212	35	52	120	5
	100.0	16.5	24.5	56.6	2.4

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

- ・学年別にみると、「自宅（こどもが一人で過ごす時間はあるが、不安はない）」は学年が高くなるほど選択する割合が高い。
- 他方、「自宅（こどもが一人で過ごす時間があり、不安がある）」を選択する割合について、学年別の違いはみられない。

図表3-48 学校がある日の朝の主な居場所（学年別）（SA）

	有効回答数	ある（ご自宅へ） 間（こどもがひとり、不安が過）	は（ご自宅へ） 間（こどもがひとり、不安が過）	安（ご自宅へ） 間（こどもがひとり、不安が過）	自宅以外
全体	3,708	1,049	769	1,786	104
	100.0	28.3	20.7	48.2	2.8
小学1年生	618	188	61	328	41
	100.0	30.4	9.9	53.1	6.6
小学2年生	618	164	77	366	11
	100.0	26.5	12.5	59.2	1.8
小学3年生	618	156	109	335	18
	100.0	25.2	17.6	54.2	2.9
小学4年生	618	178	143	283	14
	100.0	28.8	23.1	45.8	2.3
小学5年生	618	182	172	260	4
	100.0	29.4	27.8	42.1	0.6
小学6年生	618	181	207	214	16
	100.0	29.3	33.5	34.6	2.6

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

- 自宅以外の主な居場所は、「祖父母宅や友人・知人宅」、次いで「放課後児童クラブ・学童保育等（学校の敷地外で実施されているもの）」等。

②《Q2で「自宅以外」を選択した場合のみ》学校がある日の朝の主な居場所（Q3）

- ・「自宅以外」の主な居場所は、「祖父母宅や友人・知人宅」が33.7%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ・学童保育等（学校の敷地外で実施されているもの）」が28.8%、「学校（学校敷地内で実施されている放課後児童クラブ等を含む）」が20.2%等。

図表3-49 学校がある日の朝の主な居場所（MA）

	n	%
祖父母宅や友人・知人宅	35	33.7
放課後児童クラブ・学童保育等（学校の敷地外で実施されているもの）	30	28.8
学校（学校敷地内で実施されている放課後児童クラブ等を含む）	21	20.2
塾・習い事の実施場所	4	3.8
地域活動の活動場所（地域住民やボランティア等が実施する活動の場）	3	2.9
ファミリー・サポート・センター職員の自宅等	7	6.7
その他	4	3.8
合計	104	100.0

「その他」の主な回答
校門前、放課後等デイサービス 等

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

・都市区分別にみると、一般市・町村・東京特別区では、「祖父母宅や友人・知人宅」が最も多い一方、政令指定都市では「学校（学校敷地内で実施されている放課後児童クラブ等を含む）」、中核市では「放課後児童クラブ・学童保育等（学校の敷地外で実施されているもの）」が最も多い。（ただし、有効回答数が少ない点に留意が必要）

図表3-50 学校がある日の朝の主な居場所（都市区分別）（MA）

	有効 回 答 数	祖 父 母 宅 や 友 人 ・ 知 人 宅	実 施 さ れ て い る も の （ 学 校 敷 地 外 で 学 童 保 育 等 ）	放 課 後 児 童 ク ラ ブ ・ 学 童 保 育 等	ラ ブ 等 を 含 む （ 学 校 敷 地 内 で 実 施 さ れ て い る 放 課 後 児 童 ク	塾 ・ 習 い 事 の 実 施 場 所	が 実 施 す る 活 動 の 場 所 （ 地 域 民 活 動 の 活 動 場 所 等 ）	セ ン タ ー リ ・ 職 員 の サ ポ ー ト ・ フ ア ミ リ ・ サ ボ ー ト	そ の 他
全体	104	35	30	21	4	3	7	4	
	100.0	33.7	28.8	20.2	3.8	2.9	6.7	3.8	
政令指定都市	21	5	5	6	0	2	1	2	
	100.0	23.8	23.8	28.6	0.0	9.5	4.8	9.5	
東京特別区	9	4	2	1	0	0	1	1	
	100.0	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	
中核市	23	8	10	4	0	0	1	0	
	100.0	34.8	43.5	17.4	0.0	0.0	4.3	0.0	
一般市	44	14	13	8	3	1	4	1	
	100.0	31.8	29.5	18.2	6.8	2.3	9.1	2.3	
町村	5	3	0	1	1	0	0	0	
	100.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

③《Q3で「祖父母宅や友人・知人宅」以外を選択した場合のみ》当該居場所を利用している理由（Q4）

- ・「自宅」および「祖父母宅や友人・知人宅」以外の居場所で主に過ごしていると回答した保護者に対して、学校がある日の朝（始業前）に当該居場所を利用している理由を尋ねたところ、「家から居場所までのアクセスが良いため」が37.7%と最も多く、次いで「こどもが安全に過ごせるため」が26.1%、「居場所から学校までのアクセスが良い（又は学校で実施している）ため」が23.2%等。

図表3-51 学校がある日の朝の居場所の利用理由（MA）

	n	%
家から居場所までのアクセスが良いため	26	37.7
居場所から学校までのアクセスが良い（又は学校で実施している）ため	16	23.2
学校までの送迎支援があるため	10	14.5
利用料が安い	7	10.1
利用手続きが簡単	11	15.9
配慮が必要なこどもへの対応を行っているため	8	11.6
開所日・開所時間が希望に合うため	9	13.0
活動内容や過ごし方が（保護者自身の）希望に合うため	5	7.2
こどもが安全に過ごせるため	18	26.1
こどもが行きたいと言ったため／こどもが楽しく過ごせるため	7	10.1
居場所の環境が良い（広い・新しいなど）	5	7.2
居住している市区町村に利用できる他のサービスが無い	11	15.9
その他	2	2.9
合計	69	100.0

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

・利用場所別にみると、「放課後児童クラブ・学童保育等（学校の敷地外で実施されているもの）」では「家から居場所までのアクセスが良いため」「居場所から学校までのアクセスが良い（又は学校で実施している）ため」の順に多く、「学校（学校敷地内で実施されている放課後児童クラブ等を含む）」では「家から居場所までのアクセスが良いため」「こどもが安全に過ごせるため」の順に多い。

図表3-52 学校がある日の朝の居場所の利用理由（利用場所別）（MA）

	有効 回答 数	家 から 居 場 所 ま で の ア ク セ ス	学 校 で 実 施 し て い る （ 又 は ）	居 場 所 か ら 学 校 ま で の ア ク セ ス	学 校 ま で の 送 迎 支 援 が あ る た め	利 用 料 が 安 い た め	利 用 手 続 が 簡 単 な た め	配 慮 が 必 要 な こ ど も へ の 対 応 を 行 っ て い る た め	開 所 日 ・ 開 所 時 間 が 希 望 に 合 う た め	活 動 内 容 や 過 ご し 方 （ 保 護 者 自 身 の ） 希 望 が 合 う た め	こ ど も が 安 全 に 過 ご せ る た め	言 っ た も が 過 ご せ る た め が あ る こ ど も が あ る	居 場 所 の 環 境 が 良 い た め （ 広 い ・ 新 し い な ど ）	居 住 し て い る 市 区 町 村 の サ イ ト が あ る	そ の 他
全体	69	26	16	10	7	11	8	9	5	18	7	5	11	2	
	100.0	37.7	23.2	14.5	10.1	15.9	11.6	13.0	7.2	26.1	10.1	7.2	15.9	2.9	
祖父母宅や友人・知人宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
放課後児童クラブ・学童保育等（学校の敷地外で実施されているもの）	30	13	11	5	3	3	2	4	2	7	2	1	1	0	
	100.0	43.3	36.7	16.7	10.0	10.0	6.7	13.3	6.7	23.3	6.7	3.3	3.3	0.0	
学校（学校敷地内で実施されている放課後児童クラブ等を含む）	21	10	5	2	3	4	4	3	1	7	2	2	4	1	
	100.0	47.6	23.8	9.5	14.3	19.0	19.0	14.3	4.8	33.3	9.5	9.5	19.0	4.8	
塾・習い事の実施場所	4	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	
	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	
地域活動の活動場所（地域住民やボランティア等が実施する活動の場合）	3	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	
ファミリー・サポート・センター職員 の自宅等	7	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	4	1	0	1	1	0	1	1	1	2	2	1	3	1	
	100.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	75.0	25.0	

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

④《Q3で「祖父母宅や友人・知人宅」以外を選択した場合のみ》当該居場所の利用開始時間（Q5）

- ・「自宅」および「祖父母宅や友人・知人宅」以外の居場所で主に過ごしていると回答した保護者に対して、当該居場所の利用開始時間（到着時間）を尋ねたところ、「08:30以降」が36.2%と最も多く、次いで「08:00～08:29」が23.2%、「07:30～07:59」が14.5%等。

図表3-53 学校がある日の朝の居場所の利用開始時間（SA）

	n	%
06：59よりも前	9	13.0
07：00～07：29	9	13.0
07：30～07：59	10	14.5
08：00～08：29	16	23.2
08：30以降	25	36.2
合計	69	100.0

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

- 自宅以外の居場所の利用希望は、「どちらでもない」が2割程度と最も多いものの、「とても利用したいと思う」「利用したいと思う」と回答した保護者も**3割程度**。

⑤《Q2で「自宅」を選択した場合のみ》学校がある日の朝（始業前）の自宅以外の居場所の利用希望（Q6）

- ・学校がある日の朝（始業前）、こどもが現在「自宅」で過ごしている保護者に対して、自宅以外の居場所の利用希望の有無を尋ねたところ、「どちらでもない」が23.7%と最も多く、次いで「利用したいと思わない」が23.3%、「全く利用したいと思わない」が22.8%。
他方、「とても利用したいと思う」「利用したいと思う」の合計も30.3%と、学校がある日の朝の居場所を求める保護者も一定数みられる。

図表3-54 学校がある日の朝（始業前）の自宅以外の居場所の利用希望（MA）

	n	%
とても利用したいと思う	372	10.3
利用したいと思う	719	20.0
どちらでもない	854	23.7
利用したいと思わない	839	23.3
全く利用したいと思わない	820	22.8
合計	3,604	100.0

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

・学年別にみると、小学2年生以上では、いずれの学年も「利用したいと思わない」「全く利用したいと思わない」の合計が「とても利用したいと思う」「利用したいと思う」の合計を上回っており、学年が高くなるにつれて消極的な回答の割合が高くなる傾向。

図表3-55 学校がある日の朝（始業前）の自宅以外の居場所の利用希望（学年別）（SA）

	有効 回答 数	思 う と も 利 用 し た い と	利 用 し た い と 思 う	ど ち ら で も な い	い 利 用 し た い と 思 わ な	わ 全 く な い 利 用 し た い と 思
全体	3,604	372	719	854	839	820
	100.0	10.3	20.0	23.7	23.3	22.8
小学1年生	577	102	140	126	116	93
	100.0	17.7	24.3	21.8	20.1	16.1
小学2年生	607	68	124	145	143	127
	100.0	11.2	20.4	23.9	23.6	20.9
小学3年生	600	67	127	121	135	150
	100.0	11.2	21.2	20.2	22.5	25.0
小学4年生	604	52	106	151	153	142
	100.0	8.6	17.5	25.0	25.3	23.5
小学5年生	614	40	116	145	150	163
	100.0	6.5	18.9	23.6	24.4	26.5
小学6年生	602	43	106	166	142	145
	100.0	7.1	17.6	27.6	23.6	24.1

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

図表3-56 学校がある日の朝（始業前）の自宅以外の居場所の利用希望（都市区分別）（SA）

	有効回答数	とても利用したい	利用したいと思う	どちらでもない	利用したいと思わない	全く利用したいと思わない
全体	3,604	372	719	854	839	820
	100.0	10.3	20.0	23.7	23.3	22.8
政令指定都市	884	85	196	196	212	195
	100.0	9.6	22.2	22.2	24.0	22.1
東京特別区	236	41	58	51	46	40
	100.0	17.4	24.6	21.6	19.5	16.9
中核市	711	89	144	161	158	159
	100.0	12.5	20.3	22.6	22.2	22.4
一般市	1,543	139	293	383	364	364
	100.0	9.0	19.0	24.8	23.6	23.6
町村	207	16	24	58	53	56
	100.0	7.7	11.6	28.0	25.6	27.1

③保護者への調査 6) 平日（学校がある期間）の朝のこどもの居場所に向けた取組

⑥《Q6で「とても利用したいと思う」「利用したいと思う」を選択した場合のみ》利用してみたい居場所（Q7）

・学校がある日の朝（始業前）の自宅以外の居場所を「とても利用したいと思う」「利用したいと思う」と回答した保護者に対して、利用してみたい居場所を尋ねたところ、「学校（学校敷地内で実施されている放課後児童クラブ等を含む）」が59.8%と最も多く、僅差で「放課後児童クラブ・学童保育等（学校の敷地外で実施されているもの）」が59.7%等。

図表3-57 利用してみたい居場所（MA）

	n	%
祖父母宅や友人・知人宅	363	33.3
放課後児童クラブ・学童保育等（学校の敷地外で実施されているもの）	651	59.7
学校（学校敷地内で実施されている放課後児童クラブ等を含む）	652	59.8
塾・習い事の実施場所	292	26.8
地域活動の活動場所（地域住民やボランティア等が実施する活動の場）	291	26.7
ファミリー・サポート・センター職員の自宅等	136	12.5
その他	3	0.3
合計	1,091	100.0